

令和3年度から始まった 「大阪府独自の学力テスト」

「すくすくウォッチ」は、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力を向上させ、これから予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的としています。

	わくわく問題	国語	算数	理科	児童アンケート
5年生	○	○	○	○	○
6年生	○	—	—	—	○



5年生はわくわく問題・
国語・算数・理科・が
6年生はわくわく問題・理科があるんだね。
6年生は、全国学力・学習状況
調査で理科が実施されない年に限り、理科が実施されるよ。

わくわく問題(教科横断型問題)【5・6年生】

『小学生すくすくウォッチ』は、子どもたちに、各教科の学力に加え、ことばの力や、文章や情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして、「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

お子さんが「ウォッチシート」を持ち帰りましたら、ぜひ、お子さんの良いところをほめてあげて下さい。そしてできればアドバイスを見て、その後の目標と一緒に考えてみて下さい。

大阪府教育委員会 保護者リーフレットより

わくわく問題は国語、算数という1つの教科でなく、いろいろな教科にまたがった総合的な問題なんだね!



わくわく問題とは



大阪府の小学生が 挑んだわくわく問題がこちら! (5・6年生共通の問題です。)

② 每年、地域の人たちが中心となって行っている防災訓練に、今年ゆうさんたちの学校も参加します。ゆうさんたちのクラスは、「わたしたちの考える災害時の備え」について、発表や展示を行うことになりました。

(1) ゆうさんたちの班は、災害が起こった時のために備えておく非常食の選び方について発表するために調べています。そこで、どんなことに気を付けて選ぶとよいか調べていると、次の資料1を見つけました。

資料1

【日常生活中で食べている食品を非常食として選ぶ時のポイント】

<①常温で保存できるもの>
冷蔵庫に入れなくても、保存できるものを選びましょう。

<②賞味期限が1年以上先のもの>
賞味期限が長い食品でも、非常食として準備する時には、保存を始めた日から1年末満になっている場合があるので、賞味期限をきちんと確認することが大切です。

<③調理がいらないもの>
そのまま食べられるものや水を入れるだけで食べられるものを選びましょう。

3つのポイントを守れば、防災用として売られている食品だけでなく、いつも食べている食品も非常食になるよ。

ゆうさんは、家の中にある食品にも非常食になるものがないか探すことにし、資料1を参考にして、【表】に整理しながら考えています。



今日は「2025年4月17日」だ。
今日から備えておける非常食を探そう。

問題は次ページに続くよ。



わくわく問題とは

【ゆうさんの家にあった食品と「食品に書いている説明】

A 筒入り ポテトチップス	<p>・賞味期限 2026年5月 ・一度開けたら、賞味期限に関わらず、早めに食べてください。</p> 	<p>・賞味期限 2027年1月 ・オープントースター等で、焼き色がつくまで焼いてから食べてください。</p> 
C パスタめん	<p>・賞味期限 2025年10月 ・ふつとうしたお湯に入れ、7分ゆでてから食べてください。</p> 	<p>D 焼き鳥の缶づめ</p>
E さばの缶づめ	<p>・賞味期限 2027年8月 ・そのままでも、おいしく食べいただけます。</p> 	<p>・賞味期限 2026年1月 ・そのままでも、おいしく食べいただけます。</p>

【表】

		賞味期限	
		1年以上	1年未満
調理	いらない	A	
	いる		

Aの筒入りポテトチップスは、賞味期限が1年以上先で、そのまま食べられる食品だから、【表】のこの枠にあてはまるな。



ゆう

問い合わせ ゆうさんの家にあったBからEの食品は【表】のどこにあてはまりますか。あてはまるところに記号を書きましょう。

また、資料1に書いてある内容をもとに、ゆうさんの家にあったBからEまでの食品の中で、非常食として最もふさわしい食品を1つ選びましょう。(選んだ食品のマークを塗りつぶしましょう。)

解答例は最後のページにあるよ

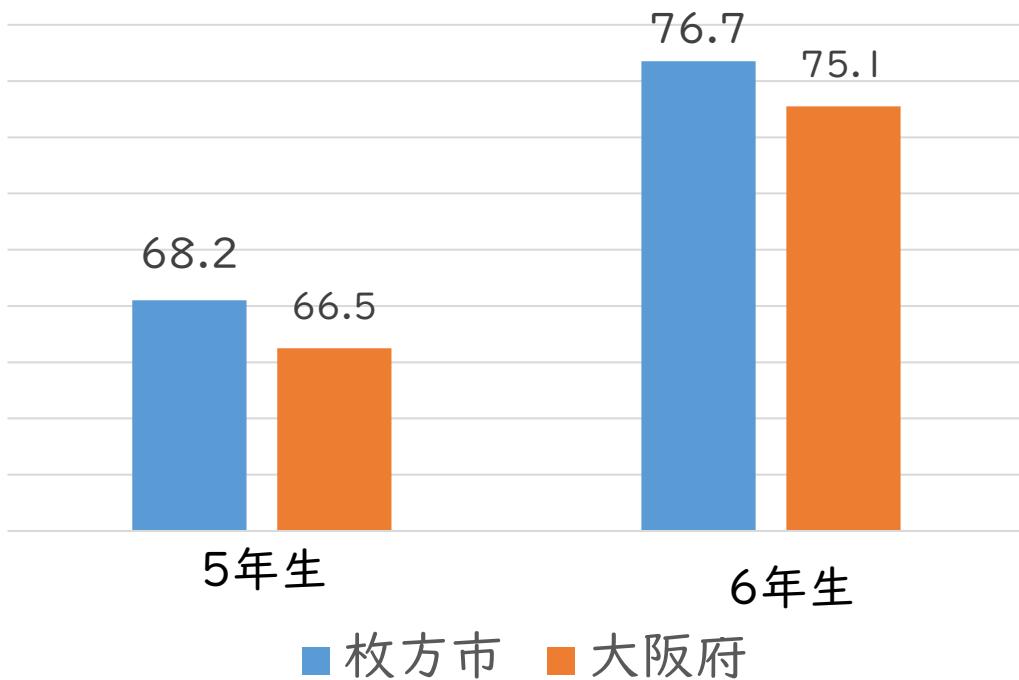


令和7年度 すくすくウォッチの結果<わくわく問題>

平均正答率

学年	枚方市	大阪府
小5	68.2	66.5
小6	76.7	75.1

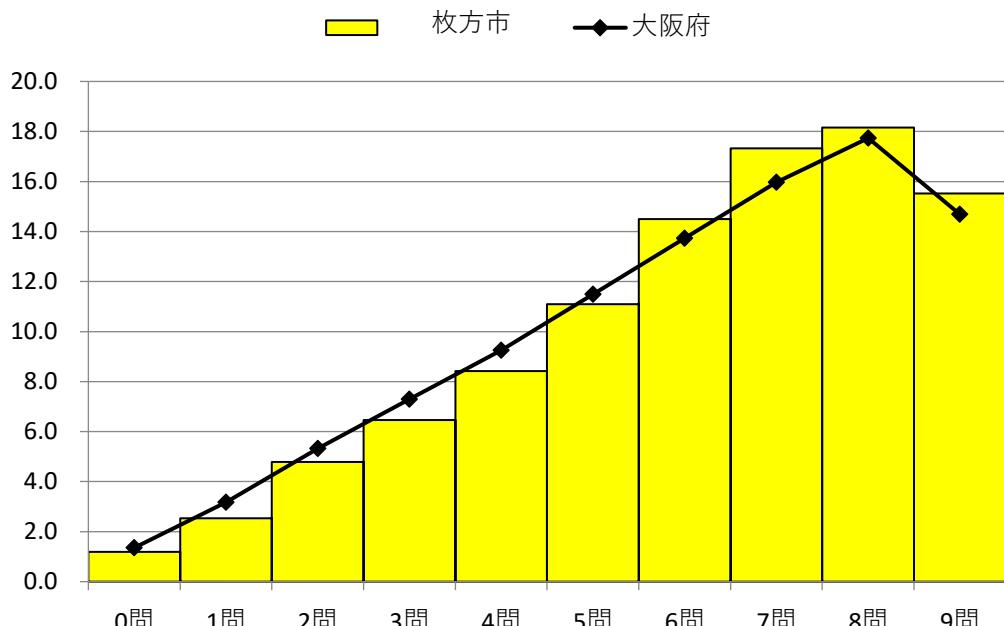
結果の推移
(対大阪府)



今年のわくわく問題については、5年生、6年生ともに大阪府の平均を上回っている。

令和7年度 すくすくウォッチの結果<小5わくわく問題>

正答数分布 グラフ



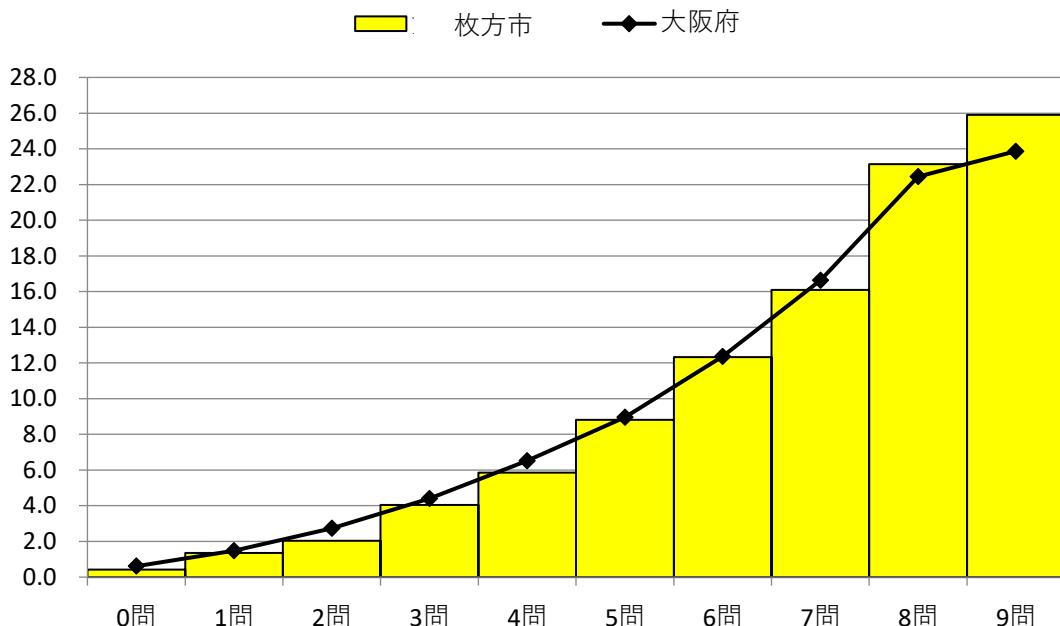
分類・区分集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			枚方市	大阪府
全体		9	68.2	66.5
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	6	72.1	70.4
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	4	68.2	66.6
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	1	57.2	57.1
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	69.2	67.7
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	57.2	57.1
問題をとらえる	文章から読み取る	7	70.5	69.1
	会話から読み取る	2	60.2	57.4
	図や表から読み取る	7	70.6	69.3
伝える	資料の情報を整理して伝える	8	69.6	67.7
	自身で考えたことを伝える	3	69.2	67.7
	理由や根拠を明確にして伝える	2	70.5	69.8
問題形式	選択	6	67.7	65.9
	図表	—	—	—
	記述	3	69.2	67.7

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

令和7年度 すくすくウォッチの結果<小6わくわく問題>

正答数分布 グラフ



分類・区別別集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			枚方市	大阪府
全体		9	76.7	75.1
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	6	80.0	78.3
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	4	75.9	74.0
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	1	65.8	66.7
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	77.3	77.0
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	65.8	66.7
問題をとらえる	文章から読み取る	7	79.4	78.1
	会話から読み取る	2	67.1	64.6
	図や表から読み取る	7	79.6	78.2
伝える	資料の情報を整理して伝える	8	78.0	76.2
	自身で考えたことを伝える	3	77.3	77.0
	理由や根拠を明確にして伝える	2	78.3	78.1
問題形式	選択	6	76.3	74.1
	図表	-	-	-
	記述	3	77.3	77.0

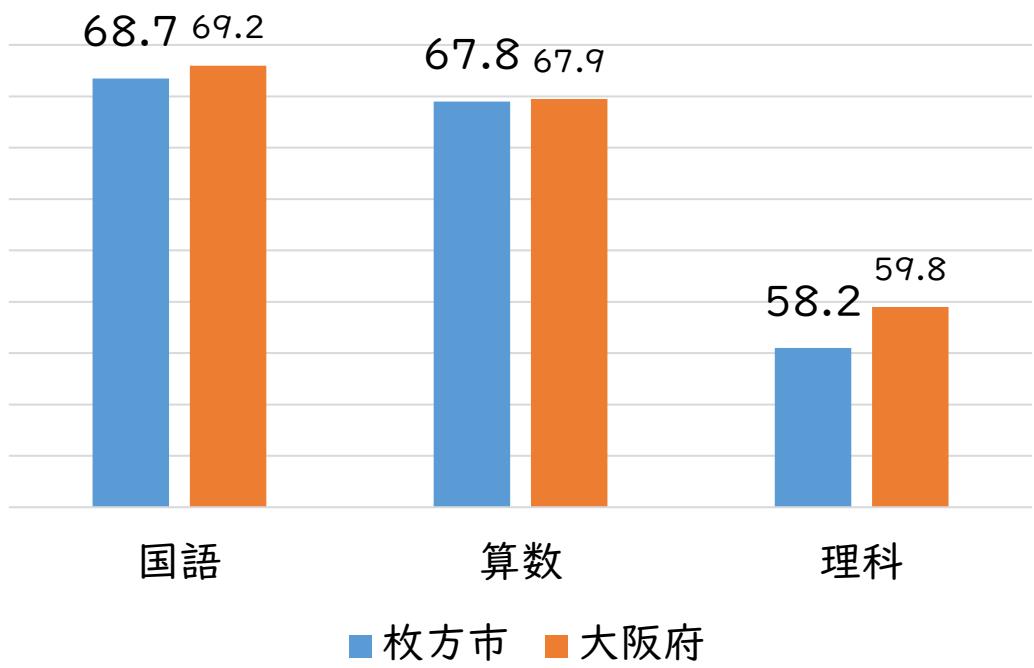
※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

令和7年度 すくすくウォッチの結果 < 小5 国語・算数・理科 >

平均正答率

小5	枚方市	大阪府
国語	68.7	69.2
算数	67.8	67.9
理科	58.2	59.8

結果の推移
(対大阪府)



国語においては、大阪府の平均をやや下回っている。

→文の内容を正しく理解する設問において課題が見られた。

算数においては、大阪府の平均とほぼ同様。

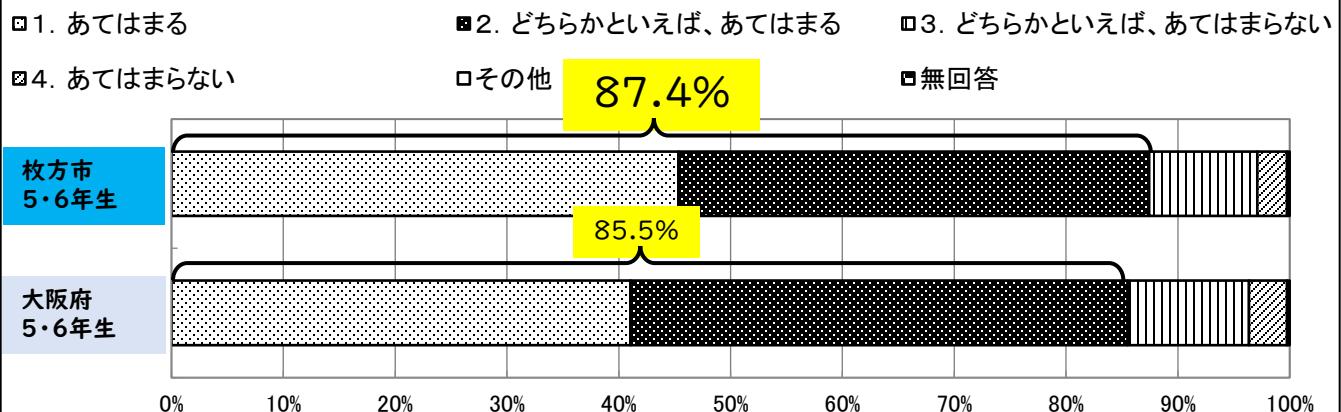
→データの活用に関する設問において課題が見られた。

理科においては大阪府の平均を下回っている。

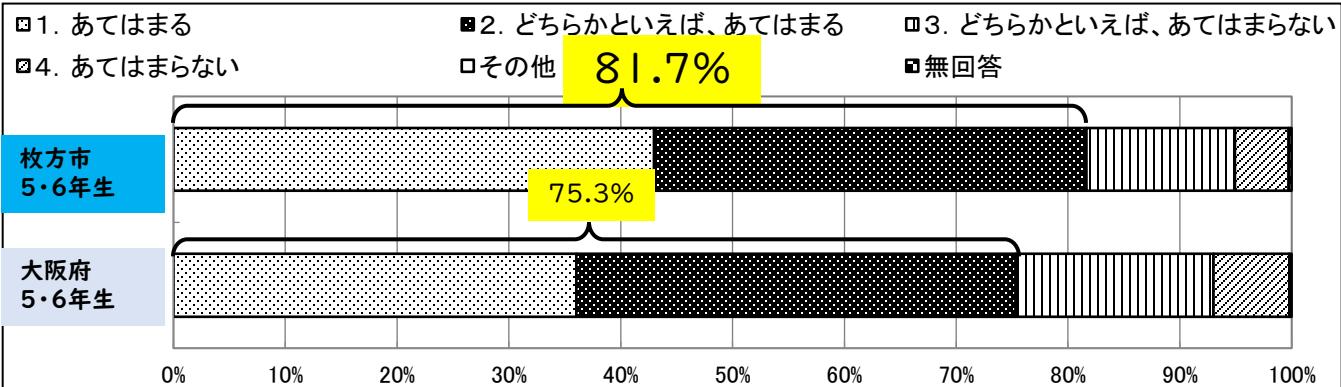
→実験や観察に基づく思考力・表現力を問う設問において課題が見られた。

令和7年度 すくすくウォッチの結果<児童アンケート>

その時間のめあてを意識して学習している



その時間に学んだことについて、ふり返りをしている



「その時間のめあてを意識して学習している」

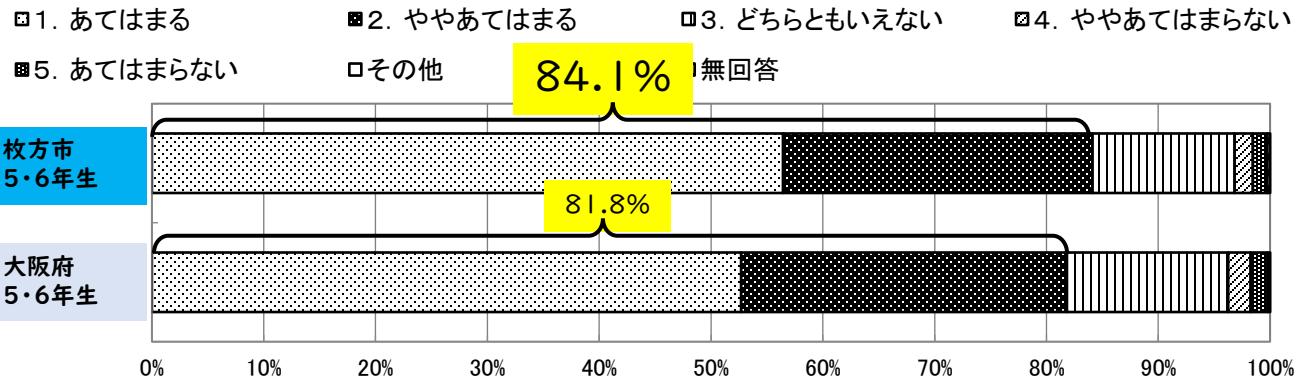
大阪府平均+1.9P

「その時間に学んだことについて、ふり返りをしている」大阪府平均+6.4P

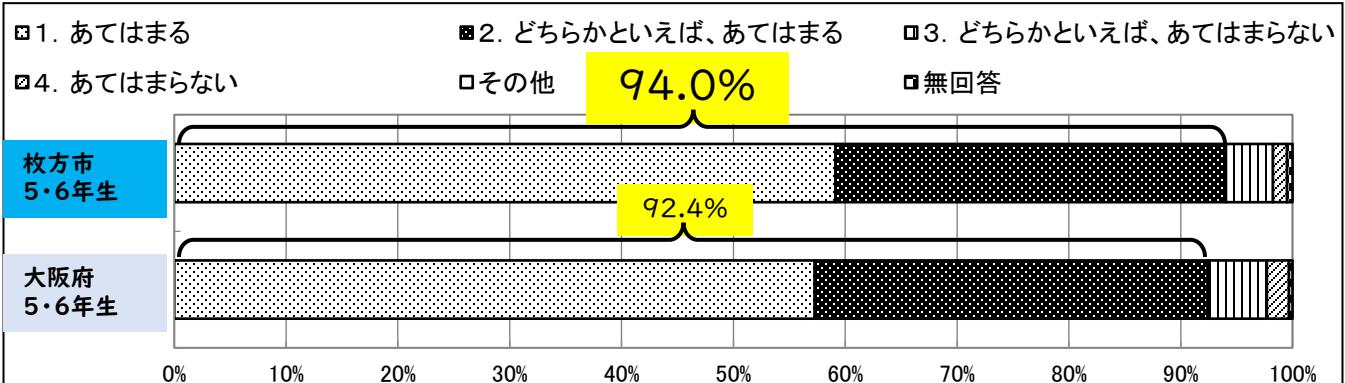
見通しをもって学習し、ふり返りができる児童が大阪府の平均を上回る結果がでています。

令和7年度 すくすくウォッチの結果<児童アンケート>

あなたの学級は、協力的である



先生は、あなたのよいところを認めてくれている



「あなたの学級は、協力的である」

大阪府平均+2.3P

「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」

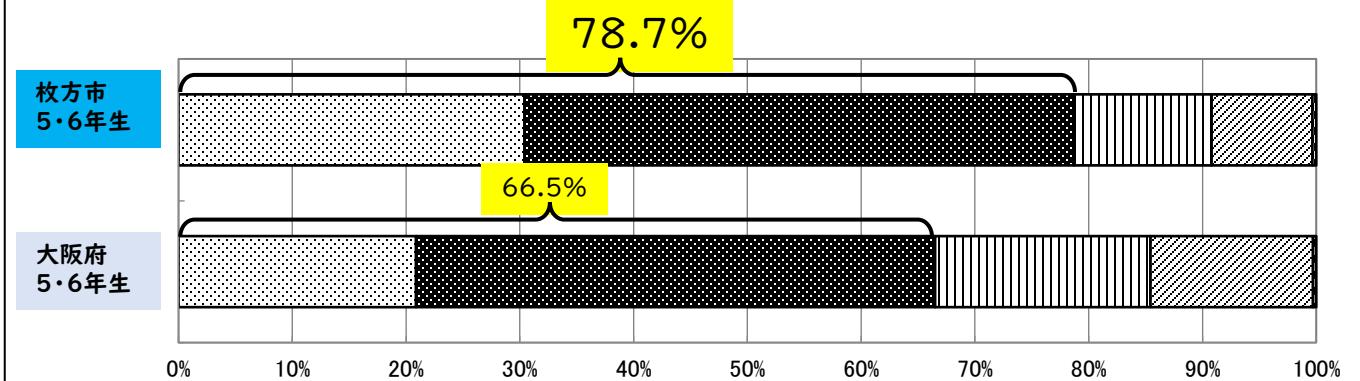
大阪府平均+1.6P

教室の心理的安全性が保たれている学級が大阪府の平均を上回る結果がでています。

令和7年度 すくすくウォッチの結果<児童アンケート>

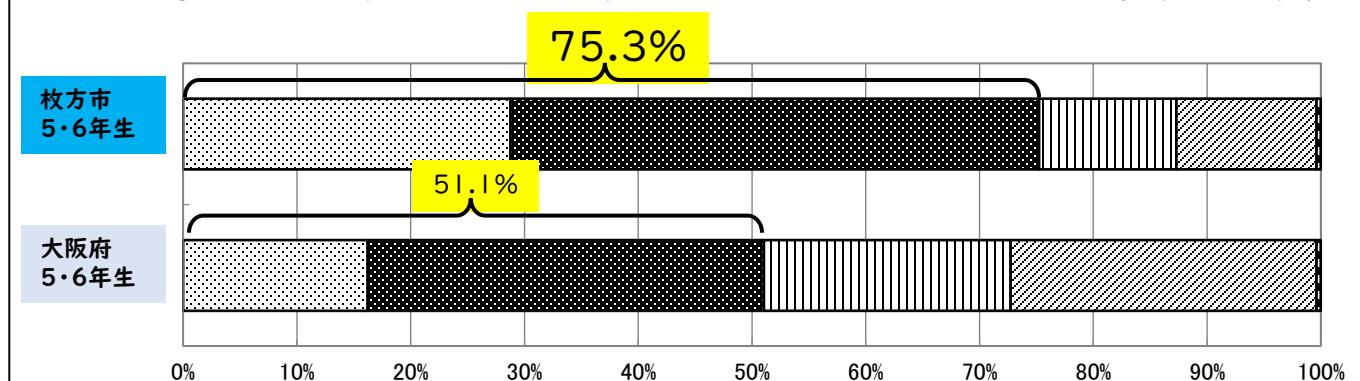
授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか

□1. ほぼ毎日 □2. 週1回ぐらい □3. 月1回ぐらい □4. ほとんどやっていない □その他 □無回答



授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか

□1. ほぼ毎日 □2. 週1回ぐらい □3. 月1回ぐらい □4. ほとんどやっていない □その他 □無回答



「授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか」 大阪府平均+12.2P

「授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか」 大阪府平均+24.2P

コンピュータやタブレットの活用について大阪府を大きく上回っています。

令和7年度すくすくウォッチの結果<クロス集計>

「クロス集計」とは、アンケート結果などのデータを集計する時に、2つ以上の観点でまとめる統計手法のことです。

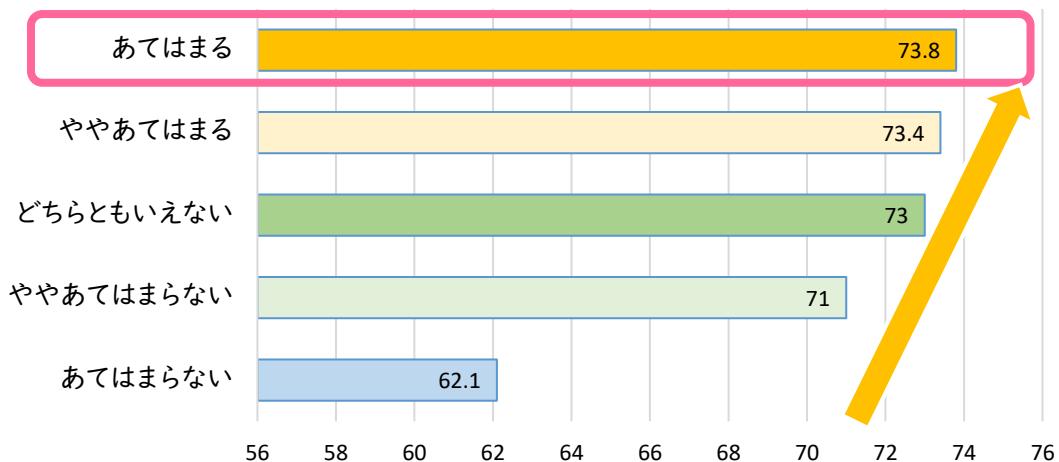
ここからは、設問と設問のクロス集計を行い、設問間の関連を分析しました。

①

②

わくわく問題正答率

難しいことがあっても、あきらめない。



【見方】

赤い□で囲んだ部分は、①の設問について「当てはまる」と回答した児童の「わくわく問題」での正答率を示しています。

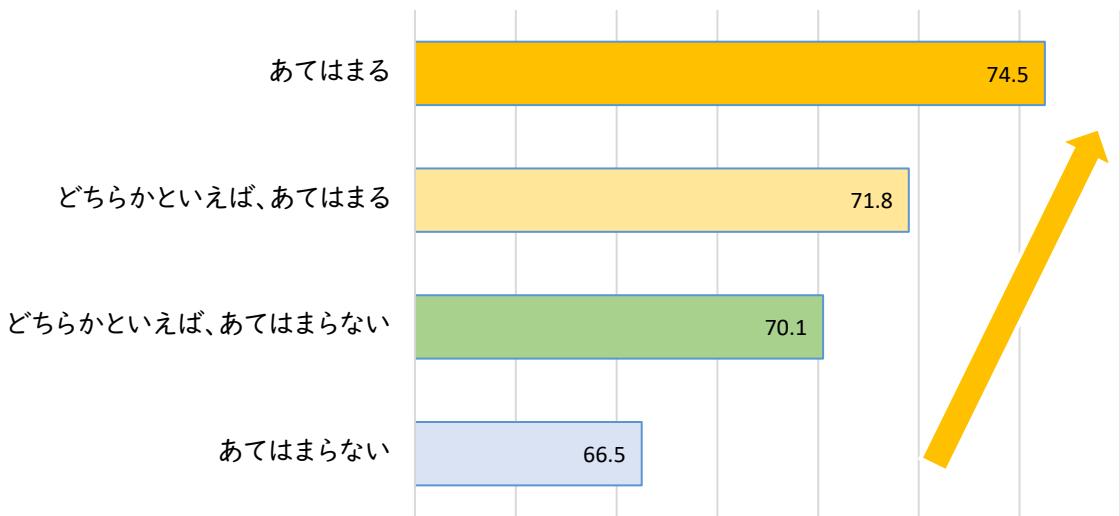
このように、「あてはまる」等肯定的な回答であるほど、正答率が高いことが分かります。



その時間のめあてを意識し、最後もふりかえりをすることで見通しをもって学びに向かうことができるね。

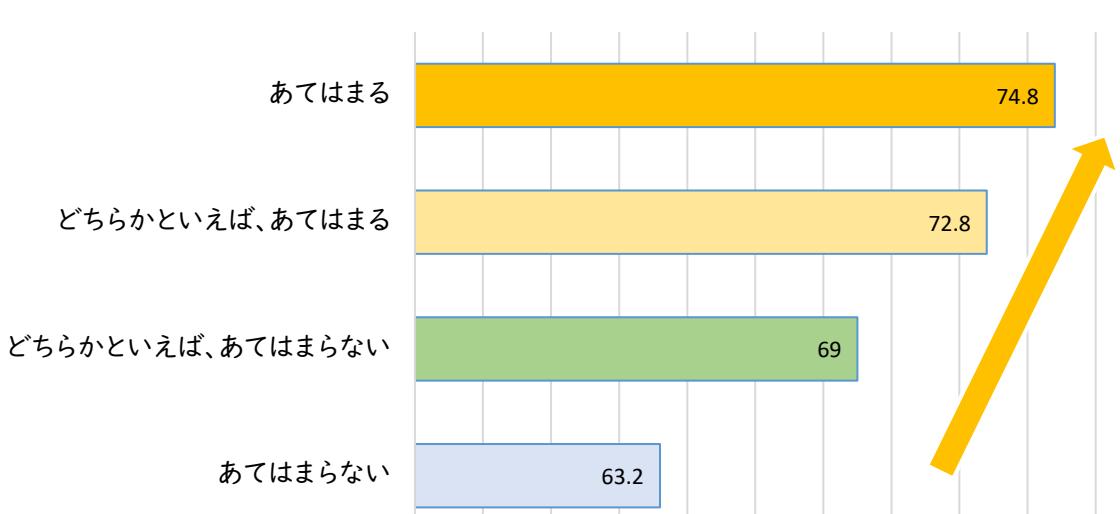
わくわく問題正答率

その時間のめあてを意識して
学習している



わくわく問題正答率

その時間に学んだことについて、
ふり返りをしている

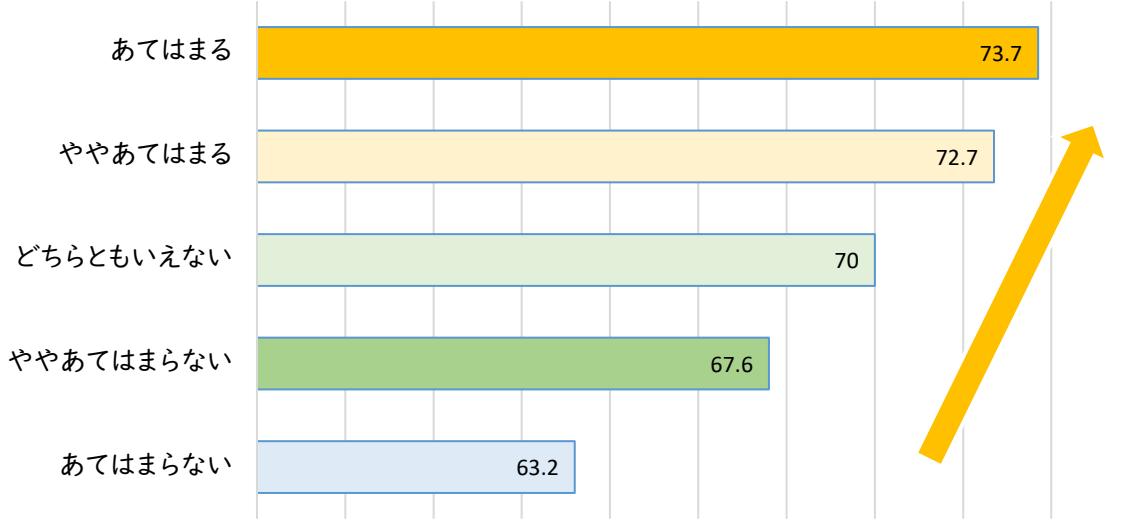




学級が安心して学べる場所であることと正答率は関係しているみたいだね!

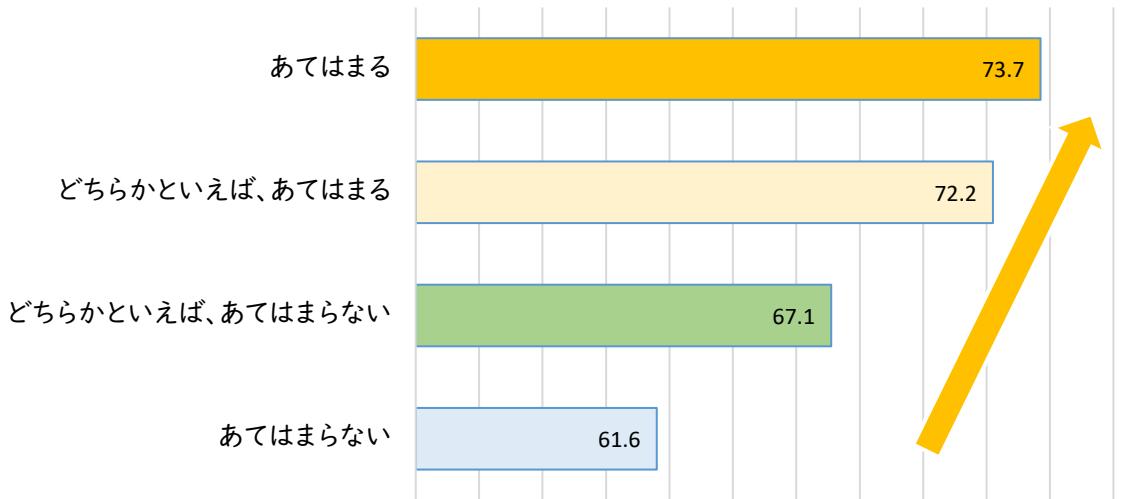
わくわく問題正答率

あなたの学級は、協力的である



わくわく問題正答率

先生は、あなたのよいところを認めてくれている

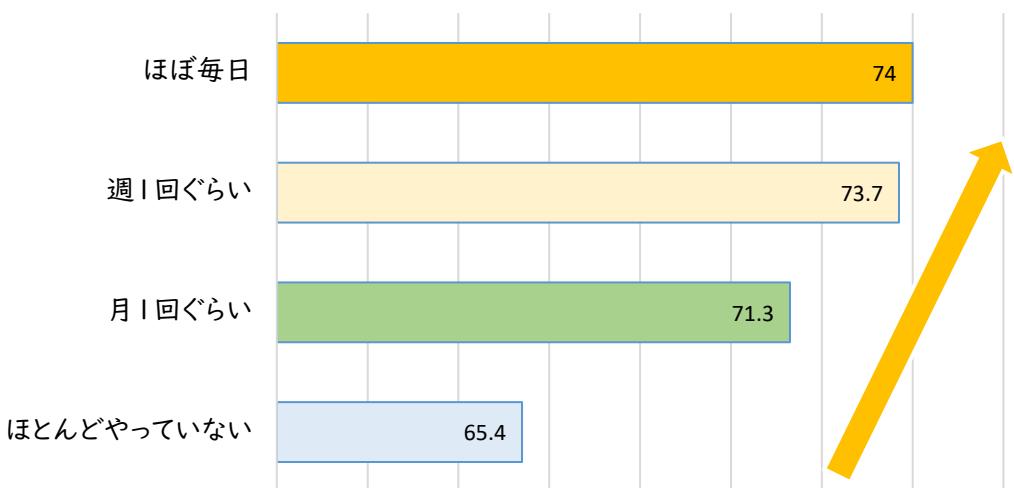




自分で必要な情報を調べたり、自分の考えをもったりすることで、考える力が身につくんだね!

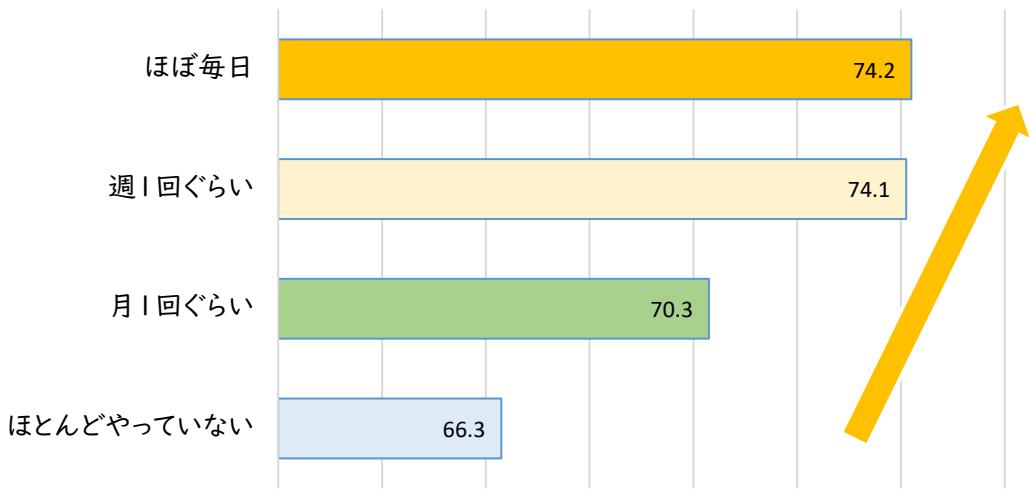
わくわく問題正答率

授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることほどくらいありますか



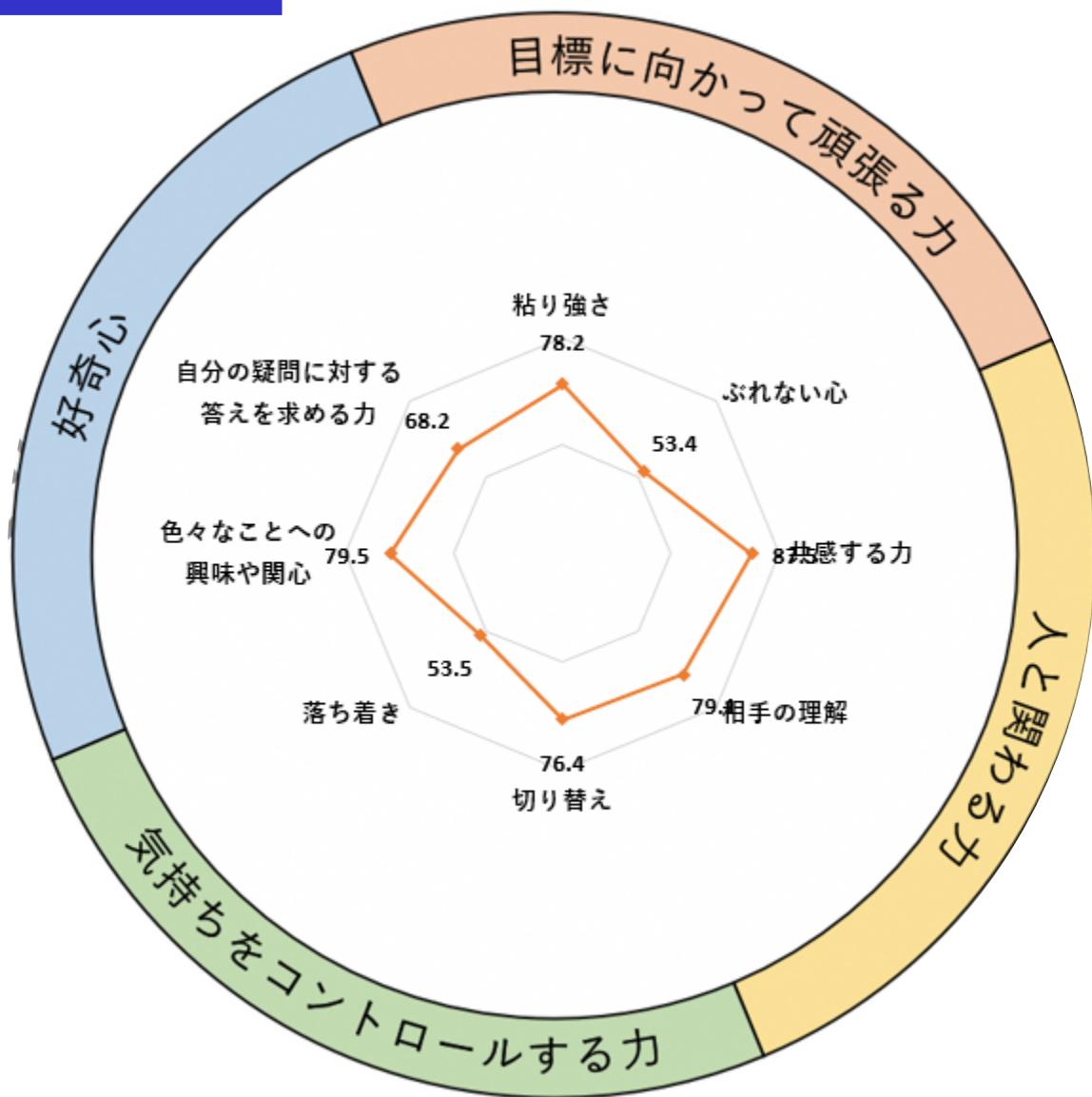
わくわく問題正答率

授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか



令和7年度 すくすくウォッチの結果

児童調査の結果



児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を
項目の合計で除して百分率で換算した値
(ポイント=平均÷合計×100)

すくすくウォッチの質問紙調査から分析した枚方市の児童の「未来に向かう力と好奇心」を表したものですね。これを見ると、枚方市の子どもたちは、「共感する力」や「相手の理解」「色々なことへの興味や関心」などで高い数値を示しているのがわかるね。



成果

教科等横断的に身につけた力を活用して解いていく「わくわく問題」においては、平均正答率が大阪府を上回る結果となりました。わくわく問題は、日常生活を想定した問題で構成されています。

このことから、授業をとおして、児童が各教科で身に付けた力を日常生活につなげ学ぶことができていることが考えられます。

課題

すくすく問題の国語及び理科において平均正答率が大阪府を下回りました。

国語については、文の内容を正しく理解する力の育成が必要です。そのためにも、語句の量を増やし、語句についての理解を深め、語感を磨くことで語彙を豊かにする授業づくりが必要です。

理科については、仮説を立て、実験や観察をとおして検証することで、問題解決の力を育成する必要があります。

算数については、大阪府の平均正答率とほぼ同様でした。データの傾向を読み取ったり、複数の資料を比較したりするなど、多面的に特徴を捉える力の育成が必要です。



はじめの問題の解答例は、

【表】		賞味期限	
		1年以上	1年未満
調理	いらない	A E	D
	いる	B	C
ひじょうしょく 【非常食として最もふさわしい食品】 E			

でした！

